



尚絅大学 尚絅大学短期大学部

こども教育学部こども教育学科(仮称)設置認可申請中

尚絅大学では地域社会における慢性的な保育者不足と、高度化・多様化する幼児教育・保育に対応できる高い実践力を持った保育者の養成を目指し、令和5年4月に武蔵ヶ丘キャンパスに4年制の新学部「こども教育学部こども教育学科(仮称)」(設置認可申請中)を開設予定です。この新学部においては、幼稚園教諭一種免許状と保育士資格の取得に加え、保育現場からの需要が高まっている特別な支援を必要とする子どもへの指導等について学ぶ授業科目や、特別支援学校教諭一種免許状を取得できるカリキュラムを設け、地域社会からの要請に対応できる高い専門性を身につけた幼児教育・保育者の養成を図ります。また、「保育」と「食」の両面から子どもの成長と食の関わりを学ぶ授業科目など、本学ならではのユニークな学びを通じ、就業後は保育現場のリーダーとして活躍できる保育者の養成を目指します。今後は短期大学部の幼児教育学科とともに地域社会における幼児教育・保育の質的・量的ニーズに応えていきます。

卒業式

令和3年度尚絅大学・尚絅大学短期大学部卒業式を、令和4年3月16日(水)に熊本県立劇場演劇ホールにて挙行了しました。今年度は、大学110名、短期大学部267名、合計377名の学生たちが卒業しました。



昨年に引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、万全な感染対策のもと、出席者の制限(卒業生のみ)及び時間を短縮して行いました。式典では、学業成績が優秀で品行方正な卒業生が各学部・学科から1名ずつ計5名選ばれ、育英褒賞が授与されました。

令和3年度 春季キャリアガイダンス開催

就職活動を始めるに当たり、今後の就職活動や働くことへのイメージを持ってもらうため、令和4年3月17日(木)～18日(金)に大学3年生、短大1年生を対象としたオンライン合同企業説明会を開催しました。また、就職活動に必要な面接のポイント、身だしなみやメイク、マナー等を確実に身に付けてもらうため、面接対策講座・メイクアップ講座・マナー講座を大学1、2年生も含め全学年に向けてオンデマンドで配信しました。



これからも、学生の皆さんが希望する就職先や進路に少しでも応えられるよう、教職員一丸となって日々支援に努めてまいります。

入学式

令和4年度尚絅大学・尚絅大学短期大学部入学式を令和4年4月5日(火)に挙行了しました。昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から新入生及び教職員のみ参加とし、十分な感染対策のもと尚絅アリーナで行われました。



大学108名、短期大学部258名の合計366名の新入生が真新しいスーツに身を包み、新たなスタートを切りました。式典後には、各学部・学科に分かれて入科式も行われました。

尚絅子育て研究センター

第1回乳幼児保育研究会を開催しました。

第1回乳幼児保育研究会は、令和4年4月20日(水)に実施し、30名の先生方の参加がありました。新型コロナウイルス感染症の防止に努め、対面とZoom(オンライン)の併用で行いました。報告者は、幼児教育学科非常勤講師の相澤先生、はげみや保育園の姫野先生でした。子どもの発達の道筋を正しく理解し、発達に応じた環境を考え、発達に応じた関わりをすることが大切であること、子どもの育ちと保育の評価を行い、今年度の保育をスタートすることなどについて意見が交わされ、学びを共有することができました。



令和4年度も、保育の質向上をめざし、現場の保育者の先生方との学びの場である「乳幼児保育研究会」を実施します。保育実践についての報告の後、子どもの豊かな育ちのために、明日の保育に繋げるために、議論を深め合っていきたいと思います。また、研究会終了後は、「保育Café」を開催し、保育の悩みをざっくばらんに話し合う場を設けていきます。

尚絅ボランティア支援センター

フードドライブボランティア活動を行いました！

尚絅ボランティア支援センターでは、食べられるにもかかわらず食品が廃棄される「食品ロス」削減と、生活に困った人々や、ひとり親世帯、福祉施設等に食品を提供する「フードドライブボランティア」活動を行いました。学生、教職員より缶詰やインスタント食品の他、米や調味料、お菓子、飲み物など、合わせて109個の食品が寄せられました。届いた食品は、令和4年2月4日(金)に、フードバンク熊本を運営する熊本藤富保育園に持参し、寄付しました。



尚絅地域連携推進センター

くまモン学の研究成果を熊本県蒲島知事に報告しました。

熊本県との連携協定に基づき進めている「くまモンに関する研究」の成果を、令和4年3月25日(金)に蒲島知事に報告しました。

山縣学長の「くまモンがかけがえない地域資源であることを改めて認識した」との挨拶の後、現代文化学部桑原芳哉学部長、畠山真一教授、柳田紀代子教授からそれぞれ報告を行いました。

蒲島知事からは、「大変興味深い内容であった。くまモンは地震や豪雨の際に熊本を応援する人々の橋渡し役など単なるPRキャラクターにとどまらない存在、来年度から予定しているくまモンランド化構想においても、貴学との連携を進めたい」との発言がありました。

本学では令和4年度以降も研究をさらに進め、学生の学びや地域への還元を進めていきます。



くまモン学プロジェクト 熊本の郷土料理の歴史・レシピを漫画化しました。



尚絅大学・尚絅大学短期大学部が共同で実施している「くまモン学プロジェクト」の一環として、生活科学部、短期大学部食物栄養学科の先生方の監修のもと、現代文化学部の学生と尚絅高校の生徒が熊本の郷土料理の歴史・レシピのマンガ化を行いました。

マンガ化の題材となったのは「納豆」、「せんだご汁」、「一文字のぐるぐる」、「加勢以多」、「からし蓮根」、「南関あげ」など熊本を代表する郷土料理ですが、今回は、「せんだご汁」と「南関あげ」を紹介します。このような取り組みを通じて、熊本の食文化の豊かさをさまざまな角度からお伝えしていきたいと思っています。



次号ではこの他のマンガを紹介予定です！お楽しみに！

◀「南関あげ」
現代文化学部2年 一野琴美さん・田代理子さん・井口愛生さん

▼「せんだご汁」
尚絅高校2年 白石結愛さん

